

公共体育・スポーツ施設に及ぼす 都市化の影響に関する一研究

鷺見 勝博（中京大学大学院体育学研究科社会体育学講座）

指導教授 藤原健固

深井一三

A Study of Influence of Urbanization for Public Sports Facilities

Katsuhiko SUMI

Abstract

Today, urban community means the focus of contemporary civilization, and also it is the center for every kind of function for the people. Moreover, urban community has individual's advantages and disadvantages, power, culture which are important for our contemporary daily life. Urban community attracts many suburban people and others, and changes our daily style and behavior pattern into urban-style.

The objects of the present author were as follows. What influence can be recognized in the public sports facilities by the function and character of today's urbanization? Especially, next conditions are important to clear this problems; (1) basic index, (2) social index, (3) economic index, and (4) (a) total index, (b) social-centered index, (c) economic-centered index.

Out investigation was held during Sep. 11, 1981 to Jun. 25, 1982. Some findings were follows.

- (1) Urbanization level decided the degree of the public sports facilities.
- (2) The density of population didn't functioned to secure the public sports facilities.
- (3) The number of place of business had good influence to the economic conditions of urban community and functioned to secure the public sports facilities.
- (4) The people's needs were reflected to secure the public sports facilities.
- (5) The local core cities has good conditions to secure the public sports facilities.

Moreover, the present author pointed out the physics problems (heterogeneity of urban community people) and individual problems in the whole social structure in the contemporary society (community disorganization).

表1 都市指標の合成

都市名	基本的指標		社会的指標		経済的指標		基本的 指 標 G	社会的 指 標 H	経済的 指 標 I	総合的にみた場合		
	基礎指数	成長指数	文化・環境指数	消費指数	経済指数	生産指数				総合的指標	社会中心指標	経済中心指標
	A	B	C	D	E	F				J	K	L
名古屋	267.0	48.4	242.9	127.3	446.4	124.7	157.7	185.1	285.6	209.5	209.8	229.9
京都	257.5	41.2	235.3	139.1	210.6	117.9	149.4	187.2	164.3	167.0	172.9	168.2
北九州	215.3	38.8	173.1	127.6	214.9	121.9	127.1	150.4	168.4	148.6	151.1	154.7
福岡	198.9	159.0	122.2	137.7	276.9	98.2	179.0	130.0	187.6	165.5	157.1	168.6
仙台	131.4	160.6	123.2	121.1	232.7	99.5	146.0	122.2	166.1	144.8	140.1	148.9
熊本	115.2	441.1	110.9	110.5	133.7	83.3	278.2	110.7	108.5	165.8	143.5	143.1
静岡	239.6	97.5	106.1	110.0	141.3	112.9	168.6	108.5	127.1	134.7	126.1	129.8
新潟	118.6	137.0	103.9	146.3	182.9	116.3	127.8	125.1	149.6	134.2	133.0	137.9
倉敷	129.6	39.7	104.3	117.9	79.2	236.7	84.7	111.1	158.0	117.9	119.9	129.3
西宮	86.6	111.1	98.4	81.2	76.2	98.7	98.9	89.8	87.5	92.1	90.9	90.5
宇都宮	122.2	173.7	97.4	116.8	121.9	111.9	148.0	107.1	116.9	124.0	118.2	120.2
浦和	75.7	138.2	85.6	63.9	71.8	83.8	107.0	74.8	77.8	86.5	82.1	82.7
旭川	176.4	157.6	105.8	109.7	128.1	82.8	167.0	107.8	105.5	126.8	119.0	118.5
吹田	70.3	235.3	121.9	79.2	83.0	83.4	152.8	100.6	83.2	112.2	105.8	102.3
長野	128.7	119.2	87.9	106.6	92.2	106.8	124.0	97.3	99.5	106.9	103.3	103.7
富山	107.1	108.3	122.7	130.3	157.9	127.7	107.7	126.5	142.8	125.7	127.6	130.9
高知	105.9	122.1	90.7	171.7	103.1	87.0	114.0	131.2	95.1	113.4	116.9	109.7
青森	164.5	180.3	101.6	134.9	118.2	69.5	172.4	118.3	93.9	128.2	121.8	116.9
秋田	134.6	180.5	117.0	135.6	137.4	90.6	157.6	126.3	114.0	132.6	128.9	126.4
下関	106.2	25.5	104.3	114.7	95.4	113.4	65.9	109.5	104.4	93.3	99.3	98.2
福島	162.7	170.7	82.1	105.8	97.4	95.3	166.7	94.0	96.4	119.0	109.3	109.7
四日市	101.9	78.9	92.8	103.5	100.7	204.2	90.4	98.2	152.5	113.7	112.9	123.8
川越	72.2	-434.2	70.6	64.7	56.0	104.6	-181.0	67.7	80.3	-11.0	21.7	24.3
佐世保	105.0	46.7	136.2	112.1	34.9	76.4	75.9	124.2	80.7	93.6	101.5	92.8
一宮	82.8	94.0	83.9	86.2	68.8	101.6	88.4	85.1	85.2	86.2	85.8	85.8
柏	61.0	339.2	64.2	66.0	76.0	96.8	200.1	65.1	86.4	117.2	98.5	102.8
呉	90.4	-17.3	111.0	110.2	69.4	138.7	36.6	110.6	104.1	83.8	93.9	92.6
盛岡	121.1	130.2	63.6	108.8	130.5	74.7	125.7	86.2	102.6	104.8	99.0	102.3
市原	105.6	211.2	50.9	63.4	60.9	274.9	158.4	57.2	167.9	127.8	110.7	132.8
富士	93.2	137.7	74.0	98.5	80.1	214.5	115.5	86.3	147.3	116.4	110.4	122.6
甲府	94.7	96.0	96.9	178.3	103.8	96.8	95.4	137.6	100.3	111.1	118.0	110.5
松本	108.6	100.0	98.9	134.3	88.2	122.8	104.3	116.6	105.1	108.8	110.8	108.6
長岡	83.0	107.5	70.0	126.5	96.8	113.4	95.3	98.3	105.5	99.6	99.7	101.1
弘前	103.3	156.0	95.4	149.7	73.1	66.1	129.7	122.6	69.6	107.3	108.1	97.5
芽ヶ崎	52.6	198.4	63.2	52.3	41.1	95.9	125.5	57.8	68.5	83.9	74.6	76.7
宇部	92.2	754.8	153.1	137.5	82.9	125.9	423.5	145.3	104.4	224.4	188.7	180.5
三鷹	55.2	74.7	56.3	86.7	49.7	107.2	65.0	71.5	78.5	71.7	72.3	73.7
室蘭	85.3	-35.1	81.8	120.4	85.7	144.5	25.1	101.1	115.1	80.4	90.1	92.9
津	92.1	104.8	67.1	139.4	107.5	126.5	98.5	103.3	117.0	106.3	106.5	109.2
別府	97.7	60.6	65.0	141.5	79.0	59.9	79.2	103.3	69.5	84.0	88.3	81.6
松江	94.7	148.4	91.7	105.2	95.8	82.8	121.6	98.5	89.3	103.1	100.4	98.5
瀬戸	73.0	139.1	54.1	71.9	44.5	111.7	106.1	63.0	78.1	82.4	76.2	79.2
木更津	74.4	201.3	70.6	123.3	57.4	73.7	137.9	97.0	65.6	100.2	95.8	89.5
富士宮	95.7	175.6	48.6	117.7	42.3	107.3	135.7	83.2	74.8	97.9	91.2	89.5
小松	124.1	90.7	73.0	111.4	71.9	150.4	107.4	92.2	111.2	103.6	100.9	104.7
北見	120.9	224.4	266.9	98.5	83.8	80.9	172.7	182.7	82.4	145.9	150.6	130.6

1. 研究視点

今日、都市は文明の焦点であり、国民生活の支配的・中心的機能の結集地である。そして、現代生活を司どっている要素が渦まいており、種々の利害、権力、文化が凝集している。また、都市は他の地域の人口を吸収するばかりではなく、アーバニズムの伝達・浸透によって国民の生活様式や生活行動を都市的なものに変化させつつある。

そこで本研究の目的は、都市化の進展に伴う現代都市のもつ機能と性格が、体育・スポーツ施設にどのような影響をもたらしているかについて、その背景を明らかにし、考察するものである。

2. 資料収集

イ) 被調査団体 人口10万人以上の都市の教育委員会。

ロ) 調査内容 「公共体育・スポーツ施設の実態調査」。

ハ) 調査方法 人口10万人以上の都市(昭和56年3月31日現在 192)の中から96団体を抽出し、郵送した。そして、57団体より解答を得、解答が完全な46団体を分析の対象とした。

ニ) 調査期間 昭和56年9月11日—昭和57年6月25日。

3. 指標の選択と統計処理

(1)指標の選択 従来から都市化の程度を計る場合、都市を形成している種々の指標によって代表される方法がとられてきた。しかし、現代のように激しい変動過程の中では、都市の形態や構造も多様に変化して複雑な様相を呈するようになった。そこで本研究では、都市の指標を多面的かつ総合的に捉えるために20の指標を選択した。

(2)統計処理 それぞれの指標を全面平均で除し、全国平均を100として指数化した。また、清水・服部に準じそれらの指数を合成した。そして、基本的側面、社会的側面、経済的側面、総合的側面を明らかにした(表1)。また、これらの指標から都市区分を設定した。

4. 結果と考察

保健体育審議会は、その答申「体育・スポーツ

表2 保健体育審議会基準値と公共体育スポーツ施設面積

	施設面積(m ²)	都市人口(人)	保健体育審議会基準値(人当り)	※ 保育率%
名古屋	125974.0	2093963	1985076.9	6.3
京都	437533.0	1461800	1385786.4	31.6
北九州	241870.8	1061013	1005840.3	24.0
福岡	871211.0	1049405	994835.9	87.6
仙台	123820.0	646685	613057.4	20.2
熊本	104354.0	509289	482806.0	21.6
静岡	859923.0	459441	435550.1	197.4
新潟	252635.0	449853	426460.6	59.2
倉敷	248860.8	406227	385103.2	64.6
西宮	41164.0	398550	377825.4	10.9
宇都宮	342466.0	377179	357565.7	95.8
浦和	214582.6	356782	338229.3	63.4
旭川	333812.3	352793	334447.8	99.8
吹田	102856.0	323248	306439.1	33.6
長野	519554.9	323275	306464.7	169.5
富山	342737.3	303930	288125.6	119.0
高知	383041.8	299936	284339.3	134.7
青森	46659.3	287838	272870.4	17.1
秋田	81601.0	284826	270015.0	30.2
下関	93405.1	263449	249749.7	37.4
福島	314750.0	262281	248642.4	126.6
四日市	260771.0	254780	241531.4	108.0
川越	91203.0	254453	241221.4	37.8
佐世保	118948.0	253494	240312.3	49.5
一宮	152772.0	251342	238272.2	64.1
柏	316845.0	238613	226205.1	140.1
呉	159411.8	235546	223297.6	71.4
盛岡	67404.0	229788	217839.0	30.9
市原	89156.0	219508	208093.6	42.8
富士	123020.0	208328	197494.9	62.3
甲府	80163.0	200049	189646.5	42.3
松本	232626.0	190056	180173.1	129.1
長岡	136544.0	178648	169358.3	80.6
弘前	152569.0	176709	167520.1	91.1
芽ヶ崎	62802.1	171574	162652.2	38.6
宇部	179241.0	167170	158477.2	113.1
三鷹	125037.5	159617	151316.9	82.6
室蘭	100749.0	156675	148527.9	67.8
津	130437.0	143608	136140.4	95.8
別府	187397.8	134419	127429.2	147.1
松江	176819.0	133541	126596.9	139.7
瀬戸	104119.5	118645	112475.5	92.6
木更津	44980.1	111364	105573.1	42.6
富士宮	33935.0	110081	104356.8	32.5
小松	103268.0	105228	99756.1	103.5
北見	70691.0	102793	97447.8	72.5

※…保育率は、保健体育審議会の基準値(人口10万人の場合1人当り0.948m²)を100としたときの値を百分比で表わしたものである。

の普及振興に関する基本方策について」(文部省1972)の中で、日常生活圏域における公共体育・スポーツ施設の整備基準値を提示した。

本研究は、その基準値(人口10万人の場合0.948㎡/人)に基づいて、各都市ごとの施設有効面積を算出した(表2)。また、施設面積と各指標との影響をみるために、それぞれの相関を出した。

そして、都市化の影響を「基本的指標」、「社会的指標」、「経済的指標」、「総合的」にみた場合(総合的指標、社会中心的指標、経済中心的指標)から捉えた。

各指標の側面から都市区分ごとに1人当りの施設有効面積との関係をみたところ、中位区分が最も高く、続いて下位区分、上位区分という傾向がみられた。しかし、基本的指標の側面については上位区分が最も高かった。

つぎに、各指標と施設面積との相関については次の点に有意な相関が認められた。

(1)基本的指標については、上位区分の「事業所数」、「一般会計歳出予算額」、「人口規模」であった。

(2)社会的指標については、中位区分の「持ち家数」であった。

(3)経済的指標については、中位区分の「年間卸売販売額」、「製造品出荷額」、「従業員数」であった。

(4)総合的にみた場合、中位区分の「基礎指数」、「経済指数」、「消費指数」のいくつかに認められた。

以上のことは、公共体育・スポーツ施設の整備状況が、都市のサイズ(人口規模、都市面積)よりも、都市のもつ財政力(都市力)によって影響

されると考えられる。

また、都市住民の生活の快適さは、都市の環境によって異なる。そのため、土地利用、地価などの物理的構造、住宅、通信施設、公共施設の性格と機能は、そのまま地域住民の生活様式に影響を及ぼすと考えられる。

5. 結語

調査結果をもとに、公共体育・スポーツ施設に及ぼす都市化の影響についてみてきた。

体育・スポーツが人間性を回復する手段として位置づけられているにもかかわらず、その施設の供給は都市化の程度のいかんにかかわらず満足のいくものではなかった。

このような現状において社会体育推進に関して考えられることは、(1)1地域に集積された大型総合競技施設から、地域住民の連帯を深めるような日常生活圏施設への転換を促し、地域に適したハードウェアを充足させる。(2)その際、住民参加方式を採用し、地域住民の直接の意見・要望を地域行政に正しく反映させ、(3)単に資源開発や経済開発を推進するだけにとどまらず、社会開発としてのコミュニティ・ケアも同時に推進する、ことが考えられる。

しかし、本研究は施設面積についてのみ言及したにすぎない。そのため、施設の管理・運営、施設の種類や学校体育施設開放などの問題ものこされており、地域に適した施設の整備基準を提示するには至らなかった。

今後、これらの問題を解決し、地域住民の“福祉”を実現するような調和のとれた地域社会の形成が望まれる。